

(単位：千円)

1 企画調整費

(1) レガシー創出事業 29,739 (4,971)

誰もが参加できるインクルーシブな大会づくりを進めるため、TSUNAGU プログラムを活用した多様な形態での大会参画を推進する。

- ① TSUNAGU プログラム推進事業 11,000 【新】
TSUNAGU プログラムを活用して、大会参画の拡大につなげる事業を展開する。
- ② シンポジウム開催事業 17,000 (2,244)
大会の開催主旨や意義を国民に広く伝えることで、開催機運の醸成や認知度の向上を図り、大会参加・参画へつなげる。
- ③ レガシー創出委員会運営 1,453 (1,950)
組織委員会や実行委員会の取組について、意見交換等の場を通じて大会づくりの助言を行う。
- ④ インクルーシブ有識者会議運営 286 (777)
障がいの有無や年齢、性別に関係なく、誰もが参加できる大会をめざし、大会運営、おもてなし、競技運営等での取り組みを推進する。

(2) 関係団体ネットワーク事業 4,868 (2,578)

大学の持つ資源や専門知識を積極的に活用するとともに、大会運営に関する協力体制を築くためのネットワーク構築を行う。

- ① 大学連携事業 1,108 (810)
学生が大会運営の企画・提案を行うインターカレッジコンペティションの開催や、提案具体化に向けた支援を行うとともに、大学と大会運営に関する協力体制を築くためのネットワーク構築を行う。
- ② 関係団体連絡調整事業 3,760 (1,768)
生涯スポーツの振興、レガシーの創出に向け、他団体の活動や設立等に対し支援を行うとともに、(公)日本体育協協会、関係省庁、RWC2019、東京2020をはじめとする関係団体等に対し、大会開催への協力支援を得るための依頼や連絡調整を行う。

2 大会運営費

(1) 大会運営準備事業 30,874 (11,843)

大会開催にかかる競技以外の部分について、参加者及び関係者により良い環境を提供するため、組織委員会が中心となり府県政令市実行委員会その他関係機関と連携して運営実施体制を構築する。あらゆる事案の想定、多岐にわたる検討課題を解決をしながら計画的に大会準備を進める。

- ① 関係団体連絡調整 360 (720)
大会を運営するにあたり必要な関係省庁及び関係団体に対し、協力支援や連絡調整を行う。
- ② 開閉会式開催準備 100【新】
開閉会式を開催する実行委員会との連携や関係機関との協議を行い、開閉会式の会場を決定するとともに、開催時間や式典コンセプトの決定など具体化に向けた準備を進める。
- ③ 大会の各種機能の配置及び大会運営体制の構築 3,980【新】
参加者がストレスなく楽しむことができることを目標とし、大会の各種機能(大会運営本部、案内所、受付会場、交流の場など)の配置を決定し、各機能を設置する会場の運営体制や相互の連絡体制の構築など円滑な大会運営に向けた準備を進める。
- ④ エントリーシステムの構築 10,658【新】
参加者の出場登録(エントリー)及び大会当日における各種受付を行うシステムを構築する。
- ⑤ 宿泊、交通(輸送)にかかる計画の具体化 12,696【新】
参加者が安心して競技に参加できるよう、宿泊施設を確保するとともに交通(輸送)の提供内容を決定する。また、2020年2月に予定する参加者募集開始に向けて、ヘルプデスクの開設準備や提供する情報の整理などを行う。
- ⑥ ボランティア配置計画、募集要項の作成 1,080【新】
府県政令市実行委員会の担当会場を含めたすべての会場におけるボランティアの活動内容、人数などの配置計画を作成し、ボランティアの募集に向けた募集要項(参加資格、募集期間、研修方法など)の作成を進める。また、ボランティアの確保や育成を行うべく、大学やボランティア関係団体等との連携を推進する。

- ⑦ 安全管理・危機管理にかかる計画作成及び実施体制の構築 600【新】
府県政令市実行委員会や関係機関の参画による「全体会議」を開催し、広域的な対策の方向性や実施体制を検討する。また、各会場の警備計画など対策内容の具体化を進める。
- ⑧ 地域の観光・文化施策の推進 1,400【新】
各地域が取り組む観光・文化施策を、本大会を契機に更に拡大させるために、関西観光本部との連携を図り、情報発信コンテンツの企画提案やツアー企画・販売チャンネルの整備などを進める。

3 競技運営事業費

(1) 競技開催準備事業 3,072 (5,013)

各府県政令市実行委員会や競技団体、その他の関係機関との協議・調整を行い、2018年度中に競技別実施要項を作成する。また要項の作成にあたり、海外におけるマスターズの国際大会等の調査を行うとともに、大会全般に関する情報共有及び意見交換の場として、中央競技団体との調整会議を開催する。

- ① 関係団体との連絡調整 2,042 (1,856)
競技別実施要項の作成にあたり、関係省庁、日本体育協会、中央競技団体及び各府県政令市実行委員会等との協議・調整を行う。
- ② 競技大会の運営に関する調査 580 (2,699)
競技別実施要項の作成及び大会運営体制の検討にあたり、2018年に開催される海外におけるマスターズ国際大会の運営調査を実施する。
- ③ 中央競技団体との調整会議の開催 450 (458)
大会準備の進捗状況をはじめ、大会全般に関する情報共有及び意見交換の場として、中央競技団体との調整会議を開催する。

4 広報誘客費

(1) 広告宣伝事業 7,927 (5,330)

関西大会開催を周知するため、競技者が多数集まるスポーツイベント等様々な機会を活用し、国内外でPR事業を実施する。

- ① 日本スポーツマスターズや国体、マラソン大会等各種イベント等でのPR
出展 4,167 (3,370)
全国から選手・競技関係者が集まる国体、参加者層が多く重なる日本スポーツマスターズ、さらには、スポーツ関心層が集まるマラソン大会（東京マラソン）等においてブース出展を行うなどPRを行うことにより、競技参加者はも

とより、ボランティアの掘り起こしを行う。

② 広報媒体の活用 3,000 (1,200)

関西大会の魅力や概要について、マスメディアを活用し国内向けに広報を行う。また、各府県政令市の行政広報媒体等も計画的に活用し、広く一般向けに情報発信するとともに、生涯スポーツ振興の機運醸成を図る。

③ WMG2017 オークランド大会参加者等によるネットワークづくり 760 (760)

国内からのWMG2017 オークランド大会参加者等による座談会を開催し、ワールドマスターズゲームズの意義・価値を共有するとともに、今後の広報活動に参画いただくなど、参加者を通じたネットワークを構築し広報活動につなげる。

(2) 参加意欲を喚起するイベント開催事業 46,400 (7,858)

① 1000 日前イベント開催事業 30,300 【新】

1000 日前という節目を契機に、開催府県政令市へのカウントダウンボードの設置やマスターズスポーツフェスタと連動したイベントを行うことで、地元における機運醸成を盛り上げるとともに、するスポーツの楽しさ、大会のもつ魅力を発信し、参加への興味を掘り起こす。

② キャラバン隊による全国PR事業 9,800 【新】

1000 日前を契機にキャラバン隊を結成し、全国の主要都市において、府県市への表敬や地方メディアへの訪問、観光地の訪問により、メディア露出も含めて全国での大会認知度の向上を図る。

③ WMG2021 魅力発信イベント開催事業 6,300 (7,858)

子どもから高齢者、障がいの有無に関わらず、誰もがスポーツに触れ、体験し、楽しめる機会を創出することにより「する」スポーツの機運醸成を図るとともに、「する」スポーツ大会であるワールドマスターズゲームズへの関心を高め、参加意欲につなげる。

(3) 広報媒体等制作事業 27,190 (16,000)

大会を広報するためポスター、チラシ、ノベルティ等の広報媒体等を制作する。

① ポスター・チラシ制作 13,050 (3,600)

大会の認知度を高めるため、PRチラシやポスターを作成し、様々な場所・機会に配付、掲出する。

○チラシ : 国内、多言語 (11 言語)

○ポスター : 国内PR用

海外PR用 (欧米向け・アジア向け)

○2つ折り大会カード

- ② 広報グッズ製作 13,430 (5,560)
大会を広く周知するための広報グッズを製作する。
- ③ 各種会議用バックボード作成 200 (200)
報道カメラ等が取材対象とする広域連合委員会をはじめ、各種会議等において、バックボードを作成し掲出することにより、大会名及びスポンサーロゴの露出を行う。平成30年1月からスタートした第2期協賛計画による協賛企業の追加に対応するため、バックボードの修正作成を行う。
- ④ 大会マスコット着ぐるみの活用 360 (6,250)
大会マスコットの着ぐるみのクリーニング・補修などメンテナンスを行う。
- ⑤ 広報活動に関する備品購入 150 (390)
各地でのイベント参加時における現地での広報業務を円滑に行うため、必要な機器を購入する。

(4) ホームページ等情報発信事業 10,152 (3,250)

大会の情報発信、ファン獲得のため、ホームページのコンテンツ拡充やフェイスブックを活用したニュースの配信等を行うとともに、メールマガジンの配信により関西大会及び関西への興味・関心のつなぎとめを図る。

5 海外マーケティング費

(1) 海外宣伝活動事業 10,020 (27,094)

- ① 関係機関を活用した海外PR事業 1,020 【新】
行政機関、競技団体、日系企業など海外に連携先をもつ関係機関に対し、ポスター、チラシ等を提供し、海外における大会周知、情報発信について協力依頼する。
連携先：自治体海外事務所、クレア、ジェトロ、JNTO、在日公館、日系企業の現地支店など
- ② デジタルメディアを活用した海外PR事業 9,000 【新】
訪日関心層にむけて拡散力のある観光WEBメディア等のデジタルメディアを活用し、大会及び周辺関連情報等を発信することにより、関西大会への関心のつなぎとめを図るとともに、発信結果を分析・検証しながら、ターゲット別に効果的な情報発信を行い、参加者獲得につなげる。
 - ・アジア及び欧米向け
 - ・中国向け

(2) 海外誘客戦略事業 19,325 (820)

① 海外関連大会でのPR事業 10,130【新】

海外関連大会において、EXPO会場や受付会場にPRブースを出展し、直接大会参加者に対し関西大会への参加を働きかけるとともに、現地の自治体、旅行会社、スポーツ団体等を訪問PRし、誘客につなげる。

・アジアパシフィックマスターズゲームズ 2018 ペナン大会での海外宣伝活動事業 5,430【新】

・パンパシフィックマスターズでの海外宣伝活動事業 4,700【新】

② 重点国・地域へのPR・誘客事業 7,695【新】

過去大会参加者や関連大会参加者が多い豪州・欧米地域において、海外関連大会への広告出稿やブース出展の委託など運営団体と連携したPR活動を行う。

また、新規参加者層獲得のため、アジアについては、訪日リピーター率が極めて高い台湾及び香港を中心に、スポーツアパレル等の海外戦略との連携やスポーツ団体等の訪問によりPR協力の働きかけを行うほか、日本体育協会が実施する交流事業を活用するなど、多角的な誘客活動を行う。

- ・豪州・北米の関連大会運営団体と連携した誘客活動
- ・台湾・香港におけるPR・誘客活動
- ・日本体育協会が実施するアジアとの交流事業を活用した誘客活動

③ インバウンド施策と連携した誘客事業 1,500 (200)

関西観光本部等関係機関と連携を図り、旅行博を活用した誘客活動など、インバウンド施策と連携した情報発信を行う。

6 マーケティング費

(1) 協賛セールス推進事業 2,000 (2,000)

必要な商標の登録など、プロパティ管理を行うとともに、協賛企業等との連絡調整事務を行う。

(2) 特別PR事業 107,000 (67,060)

大会価値を高めることにより協賛企業の参加を促進するため、関西大会を重点的にPRし、認知度の向上を図る。

① 全国への情報発信 36,000 (10,835)

全国への情報発信を効果的に行うため、WMG大会の意義・価値について、首都圏等の報道機関を通じたPR活動を行う。

また、WMGの魅力伝える紹介映像等のコンテンツを制作し、広く様々な機会を活用し、大会認知度を高めることにより大会価値を高める。

- ② WMG2021 関西大会アンバサダーの組織と運用 10,000【新】
元アスリートを中心に大会公式アンバサダーとして起用。イベント稼働や、選手として大会参加する等、分かりやすく大会を印象づける活動を推進。
- ③ ポータルサイトの開設・運用 20,000 (5,000)
大会スローガン「Team Do Sports」のもと、スポーツをする人、ささえる人、すべての人が集うプラットフォームを構築・運用し、大会参加者の囲い込みを行う。
- ④ 仲間とともにスポーツに再挑戦する機会の創出 41,000【新】
誰もがなじみのある学校や地域、職場における「クラブ活動」などを活用し、再び仲間が集まりスポーツに取り組みやすい機会を提供することにより、クラブ活動経験者のスポーツ意欲を呼び起こし、大会参加への誘導を図る。

7 組織委員会運営費

(1) 組織委員会運営事業 3,716 (3,716)

組織委員会を運営するために様々な事務を行うとともに、幹事メンバーによる大会運営等にかかる協議を行う。また、組織委員会の活動状況についてニュースレターを発行し、関係者へ送付するとともにホームページに掲載する。

(2) 常任委員会開催事業 2,400 (2,400)

大会準備や実施に関する重要な事項を協議するため、常任委員会を開催する。

(3) 総会等開催事業 8,000 (4,060)

関西の府県政令市行政・国・経済界・スポーツ界など幅広い関係者参集のもと、機運醸成及びPRを図るとともに、大会の内容や意義、競技種目等について更なる理解の深化を図る。

8 I M G A 連絡調整費

(1) I M G A 連絡調整事業 97,500 (91,074)

競技会場地等において I M G A との連絡調整を行うとともに、開催地契約書に基づき平成 30 年度負担金 75 万ユーロを支払う。

9 事務局運営準備費

(1) 事務局運営事業 116,492 (93,389)

事務局運営に係る旅費交通費、事務所借上費、印刷製本費、通信役務費のほか、今後の事業の進展に伴う準備事務の拡大や専門化・細分化に対応するため、事務局体制強化を図るための人件費を支弁する。

また、会計事務に関し、より適切に事務を履行するため、税理士の指導・助言を得る。なお、必要に応じて弁護士から助言をいただく。

(2) 理事会等開催事業 810 (810)

法令に基づき評議員会、理事会を開催する。

○評議員会 年2回(予定) ○理事会 年3回(予定)

【予備費】 4,000 (4,000)